

I 調査の概要

学校保健統計調査は、学校における、幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の発育及び健康状態を明らかにすることを目的として文部科学省が昭和23年度から毎年実施している。

この報告書は、文部科学省の集計結果(令和6年11月27日公表)を基に、岡山県分を取りまとめたものである。

1 調査の範囲・対象

(1) 調査の範囲

県内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、及び義務教育学校のうち、文部科学大臣が指定した学校(以下「調査実施校」という。)で、調査実施校に在籍する満5歳から17歳(令和5年4月1日現在)までの児童等の一部を対象とする。ただし、通信制課程の生徒を除く。

(2) 調査実施校、調査対象者及び抽出率

区分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
学校総数 (A)		326 園	377 校	165 校	86 校	954 校
調査実施校数 (B)		35 園	60 校	39 校	28 校	162 校
抽出率 (B)/(A)		10.7 %	15.9 %	23.6 %	32.6 %	17.0 %
在学者数 (C)		7,659 人	94,928 人	50,312 人	48,424 人	201,323 人
発 育 状 態 調 査	実施校1校当たりの調査対象者数(抽出数)	5歳児男女別 各 22 人 合計 44 人	年齢別男女別 各 8 人 合計 96 人	年齢別男女別 各 20 人 合計 120 人	年齢別男女別 各 15 人 合計 90 人	
	調査対象者数 (D)	1,097 人	5,577 人	4,402 人	2,406 人	13,482 人
	抽出率 (D)/(C)	14.3 %	5.9 %	8.7 %	5.0 %	6.7 %
健 康 状 態 調 査	実施校1校当たりの調査対象者数	5 歳の 幼児全員	当該年齢の 在学者全員	当該年齢の 在学者全員	当該年齢の 在学者全員	
	調査対象者数 (E)	1,371 人	31,729 人	19,494 人	22,132 人	74,726 人
	抽出率 (E)/(C)	17.9 %	33.4 %	38.7 %	45.7 %	37.1 %

(注1) 学校総数・在学者数は、令和5年度学校基本調査結果による。

(注2) 調査実施校の抽出方法は、県内の学校を児童等数の大きい方から小さい方に並び替えて層化し、各層内で単純無作為に抽出した。

(注3) 幼稚園には幼保連携型認定こども園を含み、在学者数は5歳児のみの数値。

(注4) 小学校には義務教育学校(第1～6学年)を含む。

(注5) 中学校には義務教育学校(第7～9学年)及び中等教育学校の前期課程を含む。

(注6) 高等学校には中等教育学校の後期課程を含む。ただし、高等学校の学校数には中等教育学校を含まない。

2 調査事項

学校保健安全法により4月1日から6月30日に実施される健康診断等の結果に基づき、調査を実施した。なお、令和2年度から令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当該年度末まで期間が延長されているため、集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっているので、この期間の数値と過去の数値を単純比較することはできない。

また、文部科学省が調査方法を変更したことにより、調査項目「脊柱・胸郭・四肢の疾病・異常」が「脊柱の疾病・異常」「胸郭の疾病・異常」「四肢の疾病・異常」に分割されたため、これら3項目を合計した数値と過去の数値を単純比較することはできない。

3 利用上の注意

(1) 統計表中で用いた記号等

「-」:該当者がいない場合。「0.0」「0.00」:計数が単位未満の場合。「△」:マイナスの場合。

「…」:調査対象とならなかった場合。

「X」:標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合。

(2) 数値については、単位未満を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 図中、折れ線グラフの欠落部分は、「X」処理のため連続しない。